

地域とともに育つ、生き生きあそぶっ子

福井市麻生津小学校

1 取り組みの概要

(1) 地域や家庭と学校の連携実績

項目	回数
地域・学校協議会	3回
中学校区を単位とした協議会	1回
地域及び家庭への学校公開	10回

(2) 地域人材の活用（のべ人数）

講師・ゲストティーチャー	56人
授業ボランティア（含：低ボラ）	23人
登下校支援ボランティア	2000人
その他（図書ボランティア）	140人

(3) 特色ある活動

テーマ「健康や体力づくり」

具体的活動内容

①コミュニティーランチの実施

学校・家庭・地域が連携して食育推進を図るために、年3回のコミュニティーランチを実施した。1回目は学校給食を試食していただきながら、栄養職員から学校給食のねらい、栄養、献立について説明を行った。2回目は教室にて児童とともに配膳や給食をとっていただき、子どもたちの食生活の改善や望ましい基本的な生活習慣について考えてもらう機会とした。3回目は今年度お世話になったボランティアやサポーターの方々を招待し、感謝の集いを行うとともに、一緒に給食をとることで地域の方々とのふれあいを行った。



②学校保健安全委員会

全校児童および地域・保護者対象に「心の健康」の大切さについて、児童による委員会の発表と講演会を行った。保健委員会は生活実態調査アンケートの結果報告、キラキラ言葉の紹介、エンカウンターを行い、給食委員会は心の健康に大切な食生活紙芝居を実施した。その後、落語家、はやおき亭貞九郎氏の「笑いとは・・・心と体のビタミン剤」という演目の落語を体育館で聴き、大いに笑った。この日は第2回地域・学校協議会も兼ねていたため、場所を会議室に移し、学校医さんをアドバイザーに招き、麻生津小児童の健康診断結果からの考察や生活実態調査から見えてきた、麻生津っ子の健康について話し合った。



成果と課題

子どもたちの健康や食育に関しては学校だけで行うものではなく、家庭の協力が不可欠であるが、保護者の意識には温度差がある。地域の方を巻き込み、給食の試食会を行い子どもたちの給食の様子を見てもらうことで、地域ぐるみで健康や食育に関する意識を高めてもらうために行っているコミュニティーランチは効果がある。次年度は学校からの発信だけでなく、「マイ弁当の日」なども設け、PTAと協力して食育の意識を高めていける新たな方策を考えていきたい。

